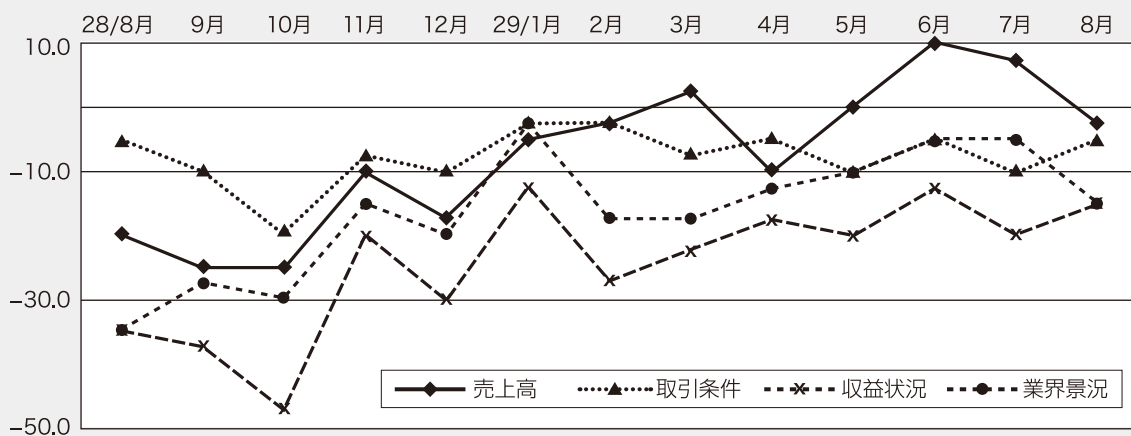


業界の今!

情報連絡員報告より
8月の業界の動き

◆ 平成29年8月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	28/8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-17.5	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5	-10.0
取引条件	-5.0	-10.0	-20.0	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	5.0
収益状況	-35.0	-37.5	-47.5	-20.0	-30.0	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	5.0
業界景況	-35.0	-27.5	-30.0	-15.0	-20.0	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-10.0

概要

平成29年8月の前年同月比DI値は前月に比べ、「売上高」、「業界景況」は10.0ポイント悪化した。「取引条件」、「収益状況」は5.0ポイント改善した。

窯業、鍍金や機械器具製造業など、一部の製造業は夏季休暇にかかわらず、受注が増加するなど好調であったが、台風や天候不順の影響で、小売業やサービス業などの非製造業では例年を下回る業種が多かった。雇用難や原材料の上昇など、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

一部では景況が回復しているが、実感は乏しい(内装工事業)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	生産動向はごくわずかであるが増加した。このうち、塩漬類、醤油漬類等は減少しているものの、酢漬類、浅漬類、糖漬類が増加して相殺傾向を示した。特に伊勢たくあんをはじめ、たくあん類の伸びは、やや増加しており、昔ながらの生活感と風味、歯ごたえと賞味期限の長さ、量目の多さなどのため、格安感が好まれたものと思われる。
		製麺	8月26日、27日 U-1うどん天下一決定戦東京代々木公園内イベント会場にて開催された。夏の暑い時期にもかかわらず温かい伊勢うどんを提供し、2,100杯程販売した。上位7位までには入れなかったが、盛夏の中、多くの方々に伊勢うどんを食べて頂くことができた。今年はおおさ伊勢うどんを提供した。
	一般機器	四日市	景況に明るさが見られ、各社各様に仕事をこなしている。少子化に向かい人口減少傾向が見られる中、有効求人倍率はリーマンショック前の高水準に戻ってきた。
	電気機器	鳥羽	長い盆休みがあり、動きもゆっくりとしている。一休みしながらも受注はやや好調である。
非製造業	小売業	自転車	上旬に商品を注文したにも関わらず、生産待ち等の理由でメーカーからの出庫が遅くなり、大企業の長期の盆休み(11日~20日)と重なり、運送会社が動かなかった日もあって、商品の流通が乱れ、下旬になって入荷が重なった。我々組合員も高齢者が多く、体力的にも作業困難な状態である。売上に関しては前年比で商品・部品が-20%、修理部門-30%となった。このような状況下大型チェーン店においても店を閉めるところが出始めている。
		石油	全国的に異常気象による豪雨や台風5号の長期停滞の影響により、各地域で燃料販売が厳しい状況で推移した。三重県は猛暑日が続いた影響により燃料販売については前年対比102%前後であった。収益については先月同様に厳しい状況が続いているのが現状である。毎年ハイブリッド車や低燃費車が増えてきているが、車両点検整備を行う場合は、低圧電気取扱の特別講習を受ける必要があり、組合員の給油所メンバーについては毎年多くの人が組合主催の特別講習を受講し、整備点検を行っている。
	サービス業	旅館	今年の夏は天候に恵まれず、全国的に海も山も人手は少なかった。三重県も同様で最も賑わう8月初旬に台風5号の影響が数日続いたことと、夏らしい好天の日が少なかったため、海水浴場、遊園地のプール等アウトドアの施設は大幅に売上を落としていたようである。旅館・ホテルも天候による影響と2学期の始まりが早くなり、夏休みが短くなったこと等により、対前年比10%程度の減収となっていた。
	建設業	内装工事業	8月はお盆休みもあり例年売上は落ち込むが、今年は逆に増加となった。国の8月月例経済報告では「いざなぎ景気に並ぶ」とあったが、確かに一部では少なからず景況は回復している様子が伺えるものの、別のところではまだまだ実感が乏しいのが現状だと思う。